

《担当者名》○唐津ふさ[karatu23@hoku-iryo-u.ac.jp]
筒井真優美(非)[tsutsui@redcross.ac.jp]

【概要】

卓越した看護実践の基礎的知識を形成するために、主要な看護理論の批判的検討を通して、看護実践への活用を探究する。また、様々な看護現象を説明する中範囲理論の実践への適用について事例を通して検討する。

【学修目標】

1. 看護理論を理解するための定義、構成要素、種類を説明できる。
2. 看護実践の基盤となる諸理論の歴史の変遷やその発展について概要を説明できる。
3. 各看護専門領域の実践・教育・研究において、看護理論がどの様に活用されているか、自らの看護実践の経験に照らして分析・評価できる。
4. 専門職として看護実践に取り組むにあたり看護理論の必要性、その根拠を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	看護理論とは何か(1)	・現代の看護知識の構成要素 ・看護理論の定義と構成要素	唐津
2~3	看護理論とは何か(2)	・看護理論の種類 ・看護理論の歴史と発展	唐津
4~5	看護理論の分析と評価(1)	理論分析と評価モデル	筒井 唐津
6~7	看護理論の分析と評価(2)	理論の評価モデルの理解と看護実践における活用例の検討：グループワーク	唐津
8~9	看護理論の分析と評価(3)	理論の評価モデルの理解と看護実践における活用例の検討：グループワーク	唐津
10~11	看護理論の分析と評価(4)	評価モデルを使用した看護理論の理解と実践適用	筒井 唐津
12~13	看護理論の分析と評価(5)	評価モデルを使用した看護理論の理解と実践適用	筒井 唐津
14~15	看護理論の実践的適用	看護実践に生かす中範囲理論：活用と理論検証	唐津

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション30%、準備・参加状況30%、課題レポート40%

【教科書】

1. 野川道子編：看護実践に活かす中範囲理論，第2版，メヂカルフレンド社，2016．
2. 筒井真優美編：看護理論 - 看護理論21の理解と実践への応用 - ，改訂第3版，南江堂，2019．
3. 筒井真優美編：看護理論家の業績と理論評価，医学書院，2015．

【参考書】

随時、提示する。

【学修の準備】

関連する参考文献や提示資料を熟読し、講義に臨む。事前課題に基づくグループワークにおいては、自由に意見を述べ、他者と

対話すること。